

# にぎわい

【秋田県 能代市】

～日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信～

「にぎわい通信」271号(令和5年2月号)となる今回は、秋田県能代市のにぎわいについてご紹介いたします。



能代市

## 洋上風力「新時代の幕開け」

国内初となる大規模な洋上風力発電設備の商用運転が、令和4年12月22日に開始されました。秋田洋上風力発電株式会社による能代港港湾区域内での洋上工事は、令和3年度から本格的に始まり、風車の基礎設置工事や海底ケーブルの据付等が行われ、4年度は風車本体の据付工事や試運転作業を実施し、順調に稼働しております。

出力4,200キロワットの洋上風力発電設備20基で、約8万世帯以上の電力を賄える計算です。能代市は約24,000世帯なので、3倍以上を賄えることになります。



## 能代港のにぎわい創出

洋上風力発電設備や基地港湾としての整備が進む能代港を一目見ようと、本市への視察が増加しております。風車タワーの据付工事が開始された令和4年7月以降、北海道から鹿児島県までの全国各地から、市、町の議会議員や産業団体、大学生などが多数訪れ、地域の観光地にも足を運んでいただいております。



## 能代港の活力

能代港周辺には洋上風力発電の事業者の運転管理事務所や倉庫等が立地し、地域からの雇用もあったほか、地元企業が建造した作業員輸送船(CTV)が、日々、海上で作業しております。また、クルーズ船寄港や、「のしろみなと祭り」、「能代の花火」等のイベントもコロナ以降、徐々に再開されており、ヒト・モノ・チカラという活力を港にもたらしています。

